スタッフの目に映る
世界のすみっこ

文・沖中美保子
写真・小野比呂志

視点

春

四季のある日本。
そのおかげで季節と一緒に
色んな思い出が廻る。
春はお別れと出会い。
お別れは切ないけれど
いつかまた会おう！
その時までにきっと
もっと大きな人になるぞ。
これまでの出会いと、
これからある
出会いの力を借りて。

たぬきの道草

寒さこらえて

冬の寒さは生き物にとって厳しいもの。冬毛を生やして備える、冬眠する、葉っぱを落とす、工夫をしながら乗り越えます。虫も幼虫やあえて成虫ですごすものもいますが、それはほんのわずか。多くの虫はサナギや卵で冬越しします。だって、食べなくてもすむんだもん。食べものが少ない時期のカシコイ過ごし方です。

おはようございます！

春の暖かさを感じてモゾモゾ虫たちが這い出てくるという啓蟄は3月6日。冬の間何もいないかに見えた風景が一気ににぎやかになっていきます。それに合わせて花粉を運んでもらいたい花たちが咲き乱れ、虫を食べる鳥たちがヒナを産みます。春の暖かい陽気はいろんな生き物の命を支えていることがわかります。

ごちそうあります！

虫たちにおいしい蜜をあげるかわりに花粉を運んでもらっているタンポポ。虫に場所を知らせるために黄色で積極アピール。虫が好きなのか春には黄色の花が多い気がします。同じと思っていても、花の下がめくれているとセイヨウタンポポという外国からの種類。日本に葉っぱはサラダに、花はてんぷらにして食べられますよ。

はっくしょん！

スギはこの時期きらわれもの。でもその花粉を飛ばす花って思い浮かぶ人のほうが少ないかもしれません。じつは写真がスギの雄花。これで咲いています。普通の花の華やかな印象とは程遠い姿ですが、タンポポと違って虫ではなく風で花粉を運ぶので、着飾る必要がないんです。でも確実じゃないので花粉を多く飛ばすのです（涙）。